

## 検体を寄付された方のご家族の皆様へ (研究に関する情報)

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究においては、より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

量子科学技術研究開発機構では、国立病院機構千葉東病院の検体の提供を受けて、以下の人を対象とする医学系研究を実施しております。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがございましたら、下記の「問い合わせ先：窓口」までご連絡いただけますようお願い致します。

[研究課題名] ヒト死後凍結脳および固定脳を用いた、神経変性疾患の分子メカニズムを明らかにするための分子マーカーの開発と評価(実施期間:許可日～西暦2025年3月31日)

[研究機関] 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門 量子医科学研究所

[研究代表者] 高堂 裕平

[共同研究機関] 国立病院機構千葉東病院(研究責任者:武田 貴裕)

[研究の目的]ヒトの死後脳を詳細に解析し、神経変性疾患の発症過程における異常タンパクの沈着や伝播、ならびに他の分子メカニズムを明らかにすべく研究を行います。

[研究の方法]

国立病院機構千葉東病院で保管されている、亡くなった患者さんの脳サンプルや診療情報を量研機構に提供していただき、様々な解析を行います。

- 対象となる脳サンプルの提供元機関名：国立病院機構千葉東病院
- 利用する研究情報：年齢、性別、診断名、病理組織化学検査の結果、生活歴、病歴、臨床検査の結果、服薬歴、家族歴

[個人情報の取り扱い]

**お名前や個人情報がでることは、一切ありません。**

利用する試料・情報からは、お名前、住所など、その他の個人を直接識別できる個人情報は削除して解析を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。(研究機関が定める個人情報保護の規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。)

**この調査へのご協力をお断りになったとしても、なんらかの不利益を受けることはありません。この研究に亡くなった方の試料・情報を使ってほしくないご遺族もしくは代理人の方は、いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記[問い合わせ先：窓口]にお申し出ください。ただし、申し出があった時点でデータが解析でまとめられてしまった後等には取り除くことができない場合があります。この場合にも、第三者から個人が特定されるような形で発表することはありません。**

[量子科学技術研究開発機構における問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市穴川4-9-1

国立研究開発法人・量子科学技術研究開発機構・量子医科学研究所

電話：043-206-3249 平日：10:00～16:00